
仮想三国志～継がれし終焉の永久詩

月下の契り

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仮想三国志〜継がれし終焉の永久詩

【Nコード】

N3870I

【作者名】

月下の契り

【あらすじ】

死を迎えた主人公、月下が再び足を付けた地は三国史だった。そこで彼は仲間と共に戦いに身を投じていく。そして、彼は終焉と呼ばれし輪廻に赴く。

終わりと始まり〜紡がれし詩（前書き）

文才がないので変な言葉づかいになるかもしれませんが、未永くよろしく願います。

終わりと始まり〜紡がれし詩

仮想三国志〜継がれし終

焉の永久詩

『終わりと始まり。紡が

れた詩』

美しい音色が、透き通った声が、僕の体を優しく、まるで風に抱かれていくかのような心地よさをもたらしてくれる。そして、感じ取る。

これが【死】なのだ。

もし、今僕が感じ取っている気持ち、感情が【死】なのだと思えばどれだけ心地よいことなのだろう。生きていた時はあれだけ悩んでいたことが、すべて解決されて自分の中で納得のいく答えが出ている。今の僕の心は【無】という一字がしつくりくる。

これが【死】なのだろう？なあ、瑠夏？

隣で詠ってくれている少女に視線を送り、今の自分の考えを思念として送る。

「そう、これが死。だけど、忘れないで。死は終わりではなく、始まりだということを」

終わりではなく、始まり・・・か。僕はこれからも、喜び、怒り、笑い、哀しむ。喜怒哀楽と呼ばれる感情の輪廻から解放されずに翻弄されていくのか。なんと嘆かわしいことか・・・。

「それが人よ」

人とはなんだろうな？神はどうして人などという不完全な存在を創造したのだろうか？

「不完全だから希望がある。完成された物に未来はない。だから神は人を創ったのよ。これから継がれる未来のために」

未来のためか・・・。なら、僕はその礎となるべくして生まれた存在。そして、再びその礎の上にこの足を付ける存在。そんな永久

と謳われる輪廻から僕たち人は離脱することができない。

「でも、未来はある。未来があれば頑張っていける。未来があるから詩は、命は紡がれていく」

ふふふ、そうだな。僕たち人は最も神に愛され、そして、神と肩を並べることができる唯一無二の生命体なのだな。

そろそろ、疲れたよ。僕は死を迎え、再び降り立つ。

その日まで・・・

お休み

瑠夏・・・

そうして、思念だけで会話をしていた少年は世界という場所から姿を消した。

「お休み・・・またいつか何処かであいませよ。何年先のことになるのかは分らないけど、私は貴方をこの詩と共に待ち続けているからね・・・月下」

瑠夏と呼ばれていた少女はひとつの願いと思いを胸に、再び詩を紡ぎだした。

だけど、それはどこか温かさの中に悲しみが混じった詩だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3870i/>

仮想三国志～継がれし終焉の永久詩

2010年10月17日02時49分発行